

編修趣意書

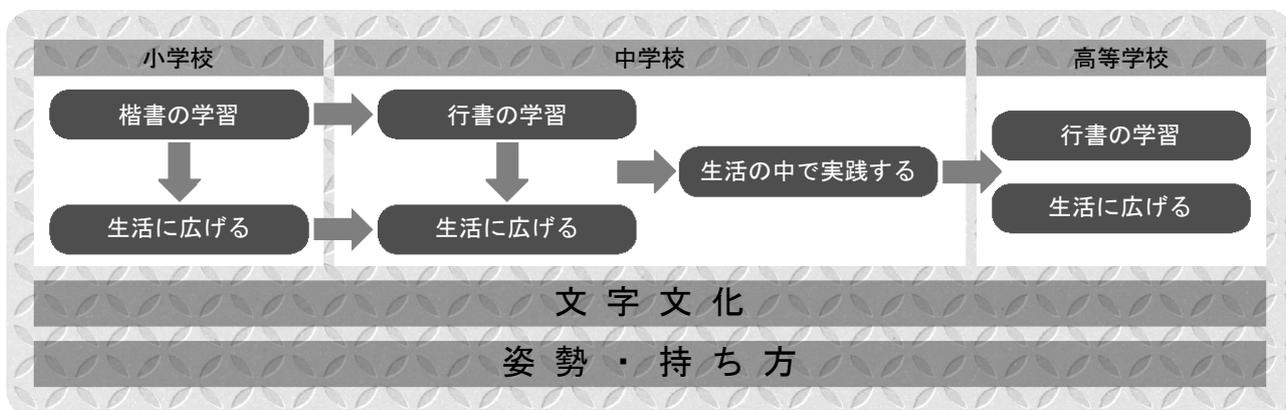
(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
26-30	中学校	国語科	書写	1-3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	書写 731	新編 新しい書写 一・二・三年		

1. 編修の趣意及び留意点

本教科書は、平成 28 年度中学校国語科書写の教科書として編集したものです。硬筆・毛筆それぞれの用具の特性を認めつつ、両者を関連させ、書写の基礎的な事項の指導が系統的にできるように組織しました。硬筆・毛筆一体の書写技能の育成を図り、また同時に文字と文字文化への興味・関心を喚起させるよう配慮しました。とりわけ次の 5 項目に留意して編集しました。

1. 指導内容を厳選し、基礎・基本の指導が徹底できるような教科書
2. 簡明な筆使い、健康で明るい書風の教科書
3. 生活に広がる書写技能の育成を図ることができる教科書
4. 文字と文字文化への関心を深めさせ、手書き文字の意義に気づくことができる教科書
5. 小学校書写との関連を図り、また、高等学校書道へのつながりも考慮した教科書



2. 編修の基本方針

1. 基礎・基本的な書写技能の習熟

- ・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」として位置づけられた学習指導要領の趣旨を踏まえ、相手に読みやすく、正しく整えて速く書くことができるという基礎的な書写技能を身につけさせることを主眼とし、指導内容の徹底した厳選を図りました。
- ・1～3年の内容を1冊にまとめて、3年間の学習を見通せるよう配慮しました。また、振り返り学習をする際にも効果的に使えるよう、参照ページを明示しました。
- ・教材を【練習】【資料】【生活に広げよう】の3つに分け、系統的・発展的な学習ができるように構成・内容を工夫しました。

【練習】

当該学年での中心となる教材です。これだけでも基本的に必要な知識と技能を習得することができます。

【資料】

練習教材などで学習した技能を簡潔にまとめ、振り返ったり活用したりできる資料です。

【生活に広げよう】

書写活動の場面を具体的に想定し、時系列に沿って学習に取り組める活動型の教材を提示しました。【練習】で培った技能や【資料】でまとめた知識を応用し、総合的に、かつ自発的に学習することができます。これによって書写の技能を生活に役立てる態度を育むことができます。

- ・各教材には「目標」と、「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階からなる「学習の手びき」を付し、能率的にかつ生徒が目的意識をもって学習できるようにしました。また、「目標」に連動した自己評価欄「振り返ろう」を設け、主体的に学習する力を身につけさせるよう配慮しました。(p. 34-35 等)
- ・学習の案内役として3人のキャラクターを設定しました。折々にヒントとなる事例や注意事項などを解説させ、学習の一助としました。(目次等)
- ・巻末資料として、「書写テストに挑戦」(p. 102-103)を設けました。入試問題や学力調査テストなどの問題に取り組むことで到達度を確認することができます。問題ごとに解説にあたるページを明示していますので、振り返って学習することもできます。
- ・行書の導入を4つの動きから展開するようにしました。4つの動きを習得すれば、漢字のかなりの部分を行書で書くことができることから、行書の基礎・基本として4つの動きの習得を重視しました。(p. 29)
- ・書き込み欄を多く用意し、学習したことをその場で書いて確認ができるようにしました。(p. 22-25 等)

2. 学習に適した毛筆教材と硬筆教材

①毛筆教材の特色

- ・字形の手本となる教材は、学習しやすいように簡明で分かりやすい書風としました。
- ・行書は、1年は比較的簡明な筆使い・字形の文字とし、2年以降は少し複雑な筆使い・字形の文字も取り入れて、発達段階に合わせて学習できるようにしました。
- ・1年の楷書と行書の導入教材、また、2・3年の行書と仮名の調和の4字教材は半紙実物大手本、「書き初め」教材は折り込みを用いた実物大手本とし、教科書の中で実物大の毛筆文字に触れられるよう配慮しました。(p. 10-11 等)
- ・毛筆教材の横にインデックスを置き、毛筆教材でどの要素を学習しているのかがひと目で分かるようにしました。(p. 17 等)

②硬筆教材の特色

- ・中学生が学習するのに適した筆使いと、整った字形の文字としました。
- ・基礎・基本の徹底という面から教材は縦書きを主としていますが、現在の社会生活、生徒の学校生活における実情に合わせて、横書きの教材も重視し、書き方の要点などを簡潔に分かりやすく解説しました。(p. 20 等)
- ・さまざまな用具に対応できるよう、教材の種類に配慮しました。基礎・基本の徹底から用具は鉛筆を主としていますが、それ以外にも、万年筆・サインペン・フェルトペン・ボールペン・シャープペンシル・筆ペンなどの使い方も慣れるよう配慮しました。(p. 95 等)
- ・巻末に、常用漢字と人名用漢字の、楷書と行書を硬筆で書いたものの一覧表を設けました。自分の名前を楷書や行書で書く際の参考にもできます。(p. 108-128)

3. 生活に広がる書写技能の育成

- ・基本教材の応用として、身につけた書写技能が日常に応用できることを生徒が実感できるように、【生活に広げよう】という教材を中心に、手紙や掲示物など実生活で役立つ教材を充実させました。(p. 37-39 等)
- ・【生活を豊かにする文字】という教材を用意し、職場訪問や防災訓練を題材に、ひとつのストーリーの中で、書写で学習したことがどう生きるのかを見せるようにしました。(p. 72-78 等)
- ・中学生にとって身近なものであるノートを書くときの整え方を教材化しました。書写で学習したことが他教科でも生かせるよう配慮しました。(p. 86-87)

4. 文字文化，手書き文字の意義を確認



- ・「絵はがきや電子メールを出すときに」（p. 88-89）では，手書きの絵はがきと電子メールそれぞれの利点について話し合わせ，手書きと電子メールの違いを理解し，生徒自身の考えによって主体的に双方を使い分けられるような教材としました。
- ・各学年とも文字や書写の知識に関する内容をコラムの形で取り上げ，読むという活動を通して書写の学習を理解できるようにしました。（p. 21 等）
- ・巻末折り込みに，二十四節気の言葉や短歌を，関連する写真とともに四季に分けて掲載しました。日本の四季が育んできた豊かな言葉を感じ取ることができます。

5. 小学校書写との関連，高等学校書道へのつながり



- ・1年導入教材となる「点画の書き方と字形」（p. 8-9）で，自分で書いた文字を教材文字と比較させることにより，小学校での学習事項の定着度が確認できるようにしました。また，「楷書の基本点画」（p. 12-13）や「楷書のまとめ」（p. 22-25）で，楷書の筆使いや字形の整え方など，小学校で学習したことを一覧できるように構成しました。
- ・高等学校書道への接続として，巻末資料に，中国と日本の古典作品を数多く提示しました。（p. 104-105）
- ・発展的な学習として，巻末資料に，日本・中国の代表的な古典をなぞり書きさせる教材を設けました。（p. 106-107）

3. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
一 年	姿勢・筆記具の持ち方	・生徒の健康上重要な姿勢や持ち方について，悪い例と正しい例を比較することで正しい姿勢の大切さを学べるよう配慮しました（第1号）。	p. 4-6
	1 楷書 ①点画の書き方と字形 ②楷書に調和する仮名 ③配列 ④配列（硬筆） 手書き文字と印刷文字の違い 楷書のまとめ 楷の木 目標を書こう	・小学校で学習した楷書の基礎・基本を復習しながらしっかりと身につけるとともに，コラムなどで知識や教養が補えるよう構成しました（第1号）。	p. 8-27
		・楷書の教材で「美しい緑」を毛筆で書かせることにより，自然や環境を意識する態度を育むよう配慮しました（第4号）。	p. 18
一 年	2 行書 ①行書の基本的な書き方 ②点画の連続と省略 毛筆で書こう 年賀状を書こう 用具・用紙のできるまで	・中学校で新しく学習する行書の基礎・基本をしっかりと身につけるとともに，コラムなどで知識や教養が補えるよう構成しました（第1号）。	p. 28-41
		・日本の伝統文化である年賀状を教材として取り上げました（第5号）。	p. 37-39
		・用具・用紙の製作工程を取り上げ，日本の伝統産業に触れられるようにしました（第5号）。	p. 40-41
一 年	3 生活を豊かにする文字 職場訪問をしよう 書いて味わおう「竹取物語」	・生活に広げる教材の題材を「職場訪問」にして，勤労を重んずる態度を養えるよう配慮しました（第2号）。	p. 42-45
		・伝統的な言語文化である「竹取物語」を視写する教材を設定しました（第5号）。	p. 46

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
二 年	1 行書 ①形や方向の変化 ②点画の連続と筆順の変化 行書のまとめ	・行書の教材で「国際社会」を毛筆で書かせることにより、他国を尊重する態度を養えるよう配慮しました（第5号）。	p. 50-51
二 年	2 行書と仮名 ①行書に調和する仮名 平仮名の始まりといろは歌 ②行書と仮名の調和 ③配列 好きな言葉を書こう 俳句や短歌を書くとき	・生徒自身が好きな言葉を選んで書く活動を設定し、生徒の創造性を育めるよう配慮しました（第2号）。	p. 64-66
		・「いろは歌」についてのコラムを設定し、日本の伝統と文化に関心をもてるよう配慮しました（第5号）。	p. 58
二 年	3 楷書と行書 ①楷書と行書の使い分け ②配列	・国語の教科書から「走れメロス」を視写の題材として取り上げ、正義と責任について考えるきっかけとなるよう配慮しました（第3号）。	p. 70
二 年	4 生活を豊かにする文字 防災訓練に参加しよう のしとのし袋 書いて味わおう「平家物語」	・生活に広げる教材の題材を「防災訓練」にして、主体的に社会の形成に参画する意識をもてるよう配慮しました（第3号）。	p. 72-78
		・伝統的な言語文化である「平家物語」を視写する教材を設定しました（第5号）。	p. 80
三 年	1 身近にある文字を調べよう ①多様な文字 身の回りの文字を探そう	・47都道府県の文字をそれぞれ紹介し、郷土を思う心を育むめるよう配慮しました（第5号）。	p. 84-85
三 年	2 効果的に書こう ①ノートに書くときに（記録） ②絵はがきや電子メールを出すときに（伝達） ③ポスターを作るときに（表現）	・絵はがきを出すときに読みやすい文字を書くことの大切さに触れる教材を設定し、相手を思いやる態度を養えるよう配慮しました（第3号）。	p. 88-89
		・ポスターに思いを表現する教材を設定し、創造性を培えるよう配慮しました（第2号）。	p. 90-91
三 年	3 生活を豊かにする文字 文化祭や卒業に向けて 書いて味わおう「おくのほそ道」	・クラスの仲間と協力して文化祭を企画する教材を設定しました（第3号）。	p. 92-97
		・伝統的な言語文化である「おくのほそ道」を視写する教材を設定しました（第5号）。	p. 98
資 料	いろいろな書式 書写テストに挑戦 漢字の成り立ちと移り変わり 古典から学ぼう〈発展〉 常用漢字表・人名用漢字表 書き初めをしよう 季節の言葉	・人名用漢字表を掲載し、生徒一人一人が自分の名前を書けるようにしました。名前を通して生まれてきたことに感謝するとともに、生命の大切さに気づくきっかけになるよう配慮しました（第4号）。	p. 123-128
		・各学年に書き初め教材を設定し、日本の伝統と文化に触れられるよう配慮しました（第5号）。	巻末折り込み
		・巻末折り込みに二十四節気や短歌などを写真とともに配置し、日本の四季の美しさに触れられるよう配慮しました（第5号）。	巻末折り込み



内容の選択・程度

- ・学習指導要領に示されている目標・指導事項を確実に学習できるよう、具体的な学習課題を設定し、教材を作成・配置しました。
- ・硬筆・毛筆とも、教材の文字は簡明な筆使いで執筆しました。また、標準的な字形で健康的で明るく、中学生が学習するのに適した書風にしました。

組織・配列・分量

- ・中学生の発達段階に応じて、小学校の学習の復習となる楷書の学習から導入し、学年ごとに行書→行書に調和する仮名・楷書と行書の選択→身の回りの文字と、確実にステップアップしながら書写技能が身につくよう配慮しました。
- ・教材は「練習」「資料」「生活に広げよう」の3つのタイプで構成しました。「練習」は当該学年の指導事項を過不足なく網羅し、基礎・基本の徹底が図れるようにしました。「練習」で培った技能や「資料」でまとめた知識を応用し、「生活に広げよう」で実践できるようにしました。
- ・「練習」は分量を精選し、必要な技能が確実に身につくようにしました。毛筆教材を学習する際には、インデックスを用いることで、当該学習内容をすぐに確認できるようにしました。
- ・毛筆教材の学習後に関連する硬筆教材を設定し、毛筆と硬筆を関連させながら学習を進められるようにしました。

教育基本法との関連

- ・日本の伝統と文化である書き初めや四季に関する言葉を掲載し、日本の郷土や伝統と文化を大切にすることを育めるよう配慮しました。また、「防災訓練」を題材として取り上げることで、公共の精神に基づき主体的に社会に参画する生徒を育てます。

教育課題への対応と配慮

- ・【**道徳教育・共生**】絵はがきを書く活動では、小学生には漢字を少なめに書いたり、おばあさんには字を大きめに書いたりするなど、相手を思いやる態度が重要であることを学べるようにしました。
- ・【**防災・安全教育**】2年生の「生活を豊かにする文字」では、「防災訓練」を題材にし、防災訓練の企画書を作成したり防災マップを作ったりする活動を設定しました。
- ・【**言語活動**】「生活に広げよう」では、国語の「書く」領域との連携を図り、新聞作成や手紙・はがき、本の帯の作成など、言語活動に使える題材を積極的に取り上げました。

表記・表現

- ・文章は簡潔で親しみやすい表現を心がけました。
- ・カラーバリアフリーの観点から、全ページにわたって配色を点検しました。その結果、配色や文字の大きさなどが適切で、見やすく分かりやすい紙面になりました。

印刷・造本

- ・判型の横幅を広くしたワイドな紙面を活用して、資料性を高めるとともに書き込み欄を充実させました。毛筆学習の際の机のサイズも考慮しています。
- ・硬筆や毛筆の文字は、濃度に気を配り、見やすいものにしました。また、用紙は鮮明な色が出て、かつ裏抜けがしにくいものを選びました。
- ・書き文字の筆使い・字形に準拠し、国語・書写の学習に適した活字（教育用明朝体）を使用しました。
- ・表紙に耐久性を高める加工をするなどして、製本を堅牢にしました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

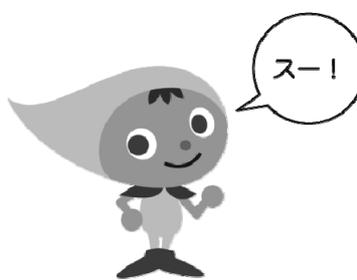
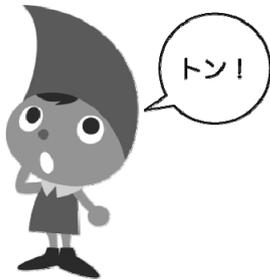
※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-30	中学校	国語科	書 写	1-3年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	書写 731	新編 新しい書写 一・二・三年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 基礎・基本的な書写技能の習熟

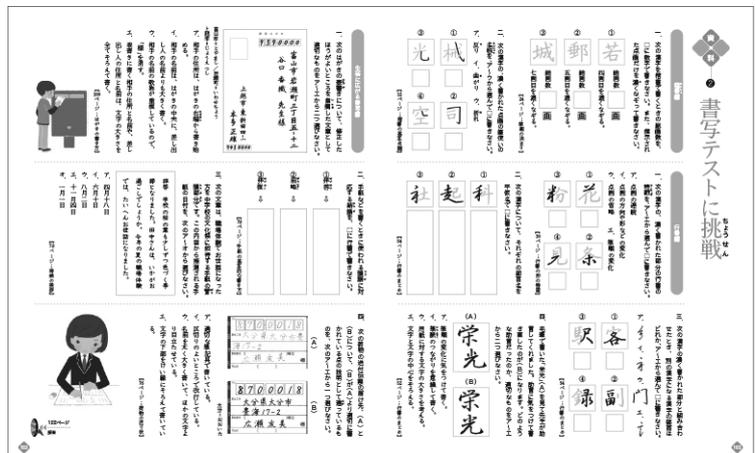
3段階のてびき

- 各教材に「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階のてびきを用意しました。段階的に学習を進められるよう配慮しています。また、3人のキャラクターがアドバイスをしてくれるので、生徒がヒントを得ながら主体的に学習を進めることができます。



書写テストに挑戦!

- 書写の入試問題や学力調査問題に取り組むことで、書写の知識・技能の定着度が分かります (p. 102-103)。



p. 102-103

行書を4つの動きにしぼって展開

- 行書の導入を4つの動きで展開し、より実践的な行書が書けるよう配慮しました (p. 29)

2. 学習に適した毛筆教材と硬筆教材

豊富な毛筆教材

- 毛筆教材は基本的な学習に必要なものに加え、選択できる教材を用意しました (p. 36 等)。

常用漢字と人名用漢字

- 巻末に常用漢字表と人名用漢字表を収録しました (p. 108-128)。自分の名前を書く際に参考になります。



p. 36

3. 生活に広がる書写技能の育成

ストーリーの中に生きる書写

- 「職場訪問」(p. 42-45)「防災訓練」(p. 72-78)「文化祭と卒業」(p. 92-97)をテーマに、書写で学習したことが、どの場面でどう生きるのかを、ストーリー形式で展開しました。

ノートの効果的な書き方を紹介

- 中学生にとって身近なものである、ノートを書くときの整え方を教材化しました (p. 86-87)。書写で学習したことが他教科でも生かせるよう配慮しました。



p. 74-75

4. 文字と文字文化、手書き文字の意義を確認

47 都道府県の文字を掲載

- 全国各地にある文字を、都道府県ごとに紹介しました (p. 84-85)。身近な文字への興味・関心を高めます。

日本の美しい四季を紹介

- 巻末折り込みに、二十四節気の言葉や短歌を、関連する写真とともに掲載しました。日本の四季が育んできた豊かな言葉を感じとることができます。



巻末折り込み

5 小学校書写との関連、高等学校書道へのつながり

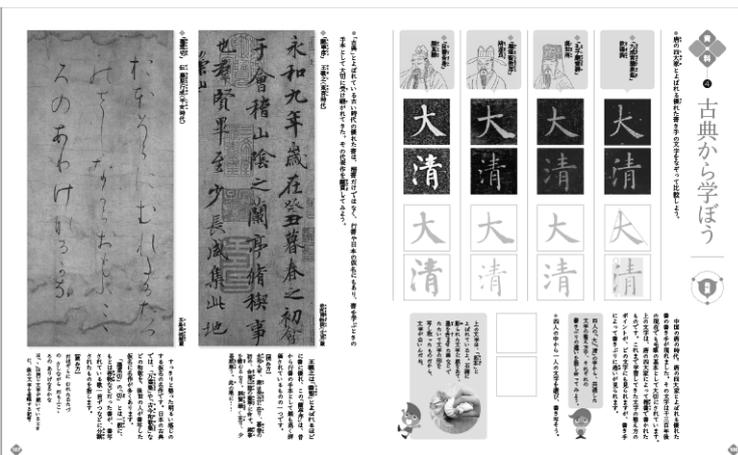
楷書のまとめを分かりやすく展開

- 1年に楷書のまとめを掲載しました。書き込み欄を設けることで、教科書の文字と自分の文字が比較しやすくなりました。

芸術科書道への接続

- 巻末資料として、高等学校芸術科書道で学習する唐の四大家などを紹介しました(p. 106-107)。高等学校書道への興味・関心を広げます。

p. 106-107



2. 編修の基本方針

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
一 年	姿勢・筆記具の持ち方	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第1学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)ア 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)イウ 	p. 4-6	1
	1 楷書 ①点画の書き方と字形		p. 8-13	2
	②楷書に調和する仮名		p. 14-15	2
	③配列		p. 16-18	2
	④配列(硬筆)		p. 19-20	1
	手書き文字と印刷文字の違い		p. 21	適宜
	楷書のまとめ		p. 22-25	適宜
	楷の木		p. 25	適宜
目標を書こう	p. 26-27	1		
一 年	2 行書 ①行書の基本的な書き方	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第1学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)イ 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アイウ 	p. 28-33	3
	②点画の連続と省略		p. 34-35	2
	毛筆で書こう		p. 36	適宜
	年賀状を書こう		p. 37-39	1
	用具・用紙のできるまで		p. 40-41	適宜
一 年	3 生活を豊かにする文字 職場訪問をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第1学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)アイ 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アウ 	p. 42-45	2
	書いて味わおう「竹取物語」		p. 46	1
二 年	1 行書 ①形や方向の変化	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第2学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)ア 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アイウ 	p. 48-49	2
	②点画の連続と筆順の変化		p. 50-51	2
	行書のまとめ		p. 52-55	適宜

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
二年	2 行書と仮名	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第2学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)ア 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アイウ 	p. 56-57	2
	①行書に調和する仮名 平仮名の始まりといろは歌		p. 58	適宜
	②行書と仮名の調和		p. 59-62	2
	③配列		p. 63	1
	好きな言葉を書こう		p. 64-66	1
	俳句や短歌を書くとき		p. 67	適宜
二年	3 楷書と行書	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第2学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)イ 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アウ 	p. 68-69	1
	①楷書と行書の使い分け		p. 70-71	2
二年	4 生活を豊かにする文字	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第2学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)アイ 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アウ 	p. 72-78	4
	防災訓練に参加しよう		p. 79	適宜
	のしとのし袋 書いて味わおう「平家物語」		p. 80	1
三年	1 身近にある文字を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第3学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)ア 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アウ 	p. 82-83	1
	①多様な文字 身の回りの文字を探そう		p. 84-85	適宜
三年	2 効果的に書こう	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第3学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)ア 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アウ 	p. 86-87	1
	①ノートに書くときに（記録）		p. 88-89	1
	②絵はがきや電子メールを出すときに（伝達） ③ポスターを作るときに（表現）		p. 90-91	2
三年	3 生活を豊かにする文字	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第3学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)ア 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アウ 	p. 92-97	2
	文化祭や卒業に向けて 書いて味わおう「おくのほそ道」		p. 98	1
資料	いろいろな書式	<ul style="list-style-type: none"> 第2各学年の目標及び内容【第1学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)アイ 第2各学年の目標及び内容【第2学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)ア 第2各学年の目標及び内容【第3学年】2内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕(2)ア 第3指導計画の作成と内容の取扱い2(2)アウ 	p. 100-101	適宜
	書写テストに挑戦		p. 102-103	適宜
	漢字の成り立ちと移り変わり		p. 104-105	適宜
	古典から学ぼう〈発展〉		p. 106-107	適宜
	常用漢字表・人名用漢字表		p. 108-128	適宜
	書き初めをしよう		巻末折り込み	1-3年各2
	季節の言葉		巻末折り込み	適宜

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
26-30	中学校	国語科	書 写	1-3 年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
2 東書	書写 731	新編 新しい書写 一・二・三年		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
p. 106-107	古典から学ぼう	2	・第2各学年の目標及び内容【第3学年】2 内容〔伝統的な言語文化と国語の特質に 関する事項〕(2)ア

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 2)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容